



4月朝礼より
(4月14日)

みなさん、おはようございます。

今日の朝礼は、令和7年度初めての朝礼であり、3学年がそろつての朝礼です。1年生はもちろんのこと、2・3年生もクラス替えがあり、新しい友人との出会い、新たな人間関係を築いていく時期ですね。

今日の私の話は、「人は見かけによらない」「イメージと違う」というテーマです。しかも、今回はウクライナ戦争の影響でこの2年間ほど話題にするのを控えていた「ロシア」に関する話です。私は今から約20年前の2003年4月からの3年間、家族4人でロシア連邦の首都モスクワに住んでいました。

モスクワ日本人学校の教員として文部科学省から派遣され、子ども2人をその学校に通わせ、授業料を支払い、私の授業(社会科)を自分の子どもが受け、私が成績をつけ、教員として給

料をいただいていた。

当時は、自分で学費を払いながら給料をもらうという、不思議な感覚でした。大胆に言えば、「自分で仕事をしてお金を払っている」ような状態ですね。現在はこの制度は改善されていると聞いています。モスクワ日本人学校は、世界に94校ある日本人学校の中で最も寒い場所にあります。気候は北海道に近く、1年の約半分が冬。残りの半年は、短い春、湿度の低い夏、そして1ヶ月もない秋です。ロシアの人口は約1億4千万人、首都モスクワは約千3百万人で、日本や東京に近い規模です。当時のモスクワ日本人学校の児童生徒数は、小学部・中学部合わせて85人ほどでした。私は小学4年生から中学3年生までの6学年の社会科を担当していました。私の子どもたちは当初、小学5年生と中学1年生でした。家では「お父さん」、学校では「先生」と呼ばれる生活でしたが、3日で慣れました。日本人学校は、日本の学校教育を海外の子どもたちに

提供する場ですので、教員は全国から派遣された先生たちです。英語やロシア語の授業は現地の外国人講師が担当し、スクールバスの運転手、通訳、警備員、用務員などのスタッフは皆ロシア人でした。

さて、みなさんはロシアの人たちについてのどのような印象をもっているでしょうか。ウクライナ戦争の報道から、「ロシア人=悪い人たち」というイメージをもっている人もいるかもしれませんが、どんな理由があれば、他国への武力侵攻によって多くの命が奪われる現実とは、決して正当化できるものではありません。しかし、国家の指導者や一部の人の判断が、国全体の意見を代表しているとは限りません。

少なくとも、3年間ロシアで生活した私の実感としては、一般のロシアの人々は平和を愛し、寡黙ながらも心優しい人が多いと感じました。ロシア人男性といえば「背が高くてがっしりした

人」というイメージがあるかもしれませんが、実際の平均身長は175〜177cm程度で、日本人より5cmほど高い程度です。

街を歩いていても、特別背の高い人ばかりという印象はありませんでした。身長184cmの私の方が、目立つこともよくありました。イメージとは違いましたよね。また、モスクワ中心部の高級デパートでは、女性がスタスタと店を出ていく後ろを、たくさんのブランド品の紙袋を両手に抱えた男性が、小走りで女性を追いかけるように歩いている姿をよく見かけました。

恋人同士なのか夫婦なのかは分かりませんが、「強くて男らしいロシア人男性」のイメージとは異なり、ちょっと意外な一面です。これは、当時の景気が良かった時代ならではの風景でした。まさに「見かけによらない」です。

そしてもう一つ、世界三大珍味の一つ「キャビア」について。チョウザメの卵で、良質なものは1gあたり250円もする高級食材です。「B」といえば、ちょうど1円玉の重さです。例えば「いきなりステーキ」の250gの「ワイルドステーキ」は2,390円程度ですから、

250gのキャビアは62,500円になります。とても高価ですね。そんな高級食材キャビアはロシア産が有名です。ですからロシアでは安く食べられるのでは?と思うかもしれませんが、私もロシアに行けば食べられると思っていました。しかし実際は、どこのデパートにも高級なキャビアは売っていませんでした。ロシア人の知人に尋ねたところ、「高級なキャビアは、ロシア人は食べません。というより、国内では売っていません。ほとんどが日本などに輸出されています」とのことでした。

これも「聞いてみないと分からない」ことですね。結局、人や物事は「見かけによらない」ものですし、世の中「イメージと違う」ことも多いのです。

新年度が始まり、新しい仲間との出会いもありました。「人は見かけによらない」と考えて、固定観念にとらわれずに接してみよう。いつも同じメンバーばかりと話していないで、新しいクラスメイトに自分から声をかけてみましょう。その人の自分とは異なる一面を見ることができるかもしれません。たくさん友人を作って充実した1年間

を過ごしてほしいと願っています。以上で、私の話を終わります。

校長 滝澤清豪

部活動保護者会 (5月10日)

皆様、こんにちは。本日はあいにくの天候の中、多くの方にご来校いただき、心より感謝申し上げます。各教室では温度が高く、蒸し暑さを感じる状況でしたが、エアコンの使用や窓の開放等に対応していただきました。多少の不快さはあったかと思いますが、生徒の体調には大きな問題はなかったようで、安堵しております。

特に1年生の保護者の皆様におかれましては、初めての中学校での授業参観であり、期待と不安の入り混じるお気持ちだったかと存じます。私も全クラスを回りましたが、普段通りの様子で授業に取り組んでおりました。本校は、日頃から落ち着いた教育環境づくりに努めております。これは小学校時代からの生活習慣や学習態度の積み重ねによるものであり、非常に重要

な点だと考えています。

1年生はすでに宿泊行事を経験しております。今年度で宿泊行事を実施したことになりますが、行事を通して生徒たちは確かな成長を見せてくれました。私は、出発前に「普段話さない人ともたくさん話をして、新しい友達を作ってください」と伝えました。帰校後、校庭で「今回の宿泊で新しい友達ができただ人」は手を挙げて、「8割程度の生徒が手を挙げました。もちろん、周囲に合わせて手を挙げた生徒もいるかもしれませんが、多くの生徒が目的を果たしてくれたと実感しております。今後教員は授業を最も重視し、教育活動に力を注いでまいります。

本日は部活動保護者会への参加、誠にありがとうございます。本校には多くの部活動がありますが、近年、国(スポーツ庁)より「3年間で部活動を地域に移行する」方針が示され、各自治体でその準備が進められております。今年度はその3年目にあたりま。

江戸川区においても、地域をいくつかのブロックに分

け、指定校を設ける形で、特定の部活動(例：ヨガなど、一般的でない種目を含む)を試験的に地域移行しています。周辺地域の希望する生徒がその学校に集まり、活動するという形式です。しかし、完全な地域移行にはまだ時間がかかる見込みであり、現在の1年生が卒業するまでには実現しないと考えられます。地域人材の確保や活動場所の整備など、課題が多く存在します。

これまでのように、教員が週5日以上活動を行うことは禁止されており、ガイドラインに基づいた適正な運営が求められています。かつては週7日活動や、長期の連続練習もありましたが、現在は学力向上や生徒の生活バランスを重視し、そのような体制は取れなくなりました。

なお、本校教員は全員が何らかの形で部活動の顧問を担っており、教育課程外活動ではありませんが、学校の責任のもとで全力で支援を行っております。

最後に、毎年のご案内となりますが、部活動における会計管理についてご協力をお願いします。部活動によつては私費による部費の徴収がある場合がありますが、教員が金銭を管理することは禁止されています。そのため、保護者の中から会計担当者を決めていただく必要があります。すでに担当者が決まっているかと存じますが、引き続き

保護者の皆様のご協力をお願い申し上げます。
本日はお忙しい中、ありがとうございました。

校長 滝澤清豪